

# ☆天文の基礎知識 — 星の等級の表し方 —

この「星空情報」では、星の明るさを表す等級に関して毎月でてくるので、よく理解してください。

北極星の近くにあるいくつかの星の明るさの平均値を使って決めた基準によって、星は「1等星」・「2等星」・「3等星」などと分けられ、暗い星ほど数字が大きくなります。

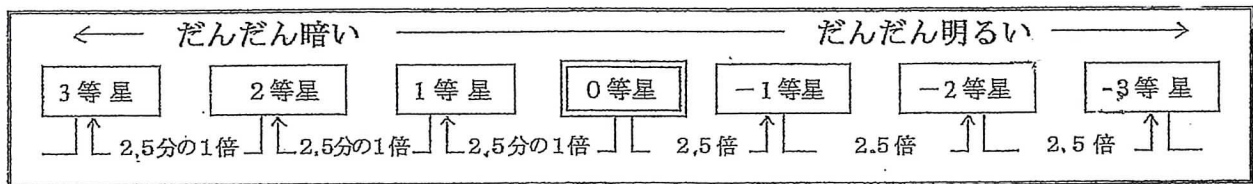
七夕の夜、「織り姫星」と言われること座の「ベガ」がかなり正確な「0等星」で、0等星の約2.5分の1（約0.4倍）の明るさしかない星が「1等星」、1等星のさらに約2.5分の1の明るさしかない星が「2等星」となります。逆に、0等星の約2.5倍明るい星が「-1等星」、-1等星の約2.5倍明るい星が「-2等星」などとなります。

つまり、明るさが約2.5分の1倍（約0.4倍）しかなかったり、約2.5倍明るくなるごとに1等級下げたり上げたりします。

そのため、例えば1等星は6等星に比べて5等級ちがうので、2.5を5回かけ算した分（ $2.5 \times 2.5 \times 2.5 \times 2.5 \times 2.5$ ）の約100倍明るいこととなります。

また、この「星空情報」の1枚目の「西の星空」の文に「-2.1等の木星」とありますが、正確な1等星や0等星などに比べて、ちょうど2.5分の1の倍とか、2.5の何倍とかにならない明るさを表す場合は小数点をつけて表します。

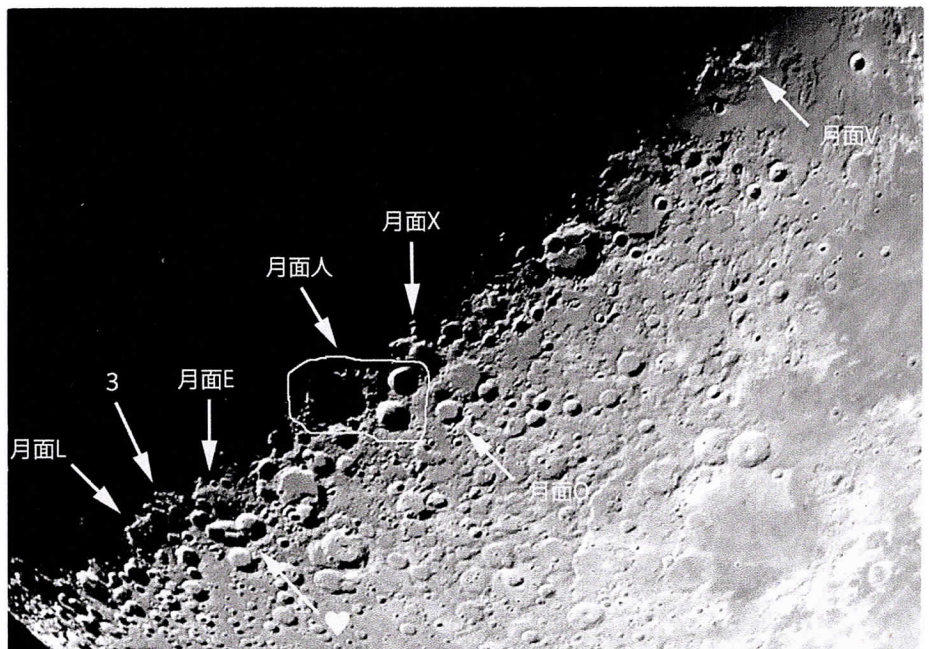
ただし、あまり正確な表し方でなくてもいい場合には、1等星以上の明るい星全部を1等星ということもあり、よく、「1等星が全部で21個ある」というのはそういうことです。



## 月の新しい楽しみ方 月面X、LOVE、月面人を見よう！

最近、望遠鏡で見る月の新しい楽しみ方がはやっています。夕方に見える半月（上弦の月）の時に、月の欠けぎわに英語の「X」や「L・O・V・E」「♥」にそっくりな地形を見ることが出来ます。人の顔に似た「月面人」まであります。

ふつう半月は月に1回ありますが、望遠鏡があっても天気が良くないと見られないので、チャンスは意外と少ないでしょう。いっしょに楽しみたいですね。



2021年4月19日さつえい。月面Xは3月号でもしようかいしました

新型コロナウイルス感染防止のため、『星を見る会』はしばらく開催しないことにしました。再開するときに、またお知らせいたします。